

「26 年 1 次直前総まとめ講座」財務・会計 訂正のご案内

教材に関して以下の誤りまたは不十分な記述がありました。下記のとおり訂正し、お詫び申し上げます。

■ NU26466 26 年 1 次直前総まとめ講座 財務・会計

| 更新日      | 訂正箇所                                                                                                                                                          | 誤 | 正 |
|----------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---|---|
| 26. 7. 8 | P38 ②将来加算一次差異                                                                                                                                                 |   |   |
|          | (訂正前)                                                                                                                                                         |   |   |
|          | ② 将来加算一時差異 (税効果会計の対象)                                                                                                                                         |   |   |
|          | 将来、このズレ (繰延税金負債) が解消すると「課税所得が増える」差異                                                                                                                           |   |   |
|          | ● 例：減価償却費の限度超過、貸倒引当金の限度超過、棚卸資産評価損、繰越欠損金                                                                                                                       |   |   |
|          | ● 理由：今は税務で認められていない費用が、会計と税務の貸借対照表のズレ (繰延税金負債) として認識されることにより、将来のどこかで「税務上の費用」として認められるため、将来の課税所得が減る。したがって、将来の税金が減ることが見込まれる。                                      |   |   |
|          | (訂正後)                                                                                                                                                         |   |   |
|          | ③ 将来加算一時差異 (税効果会計の対象)                                                                                                                                         |   |   |
|          | 将来、このズレ (繰延税金負債) が解消すると「課税所得が増える」差異                                                                                                                           |   |   |
|          | ● 例：圧縮記帳 (国庫補助金等で資産を取得する際、国庫補助金等と同額の帳簿価額を圧縮して圧縮損を計上する処理) による税務上の費用の前倒し計上                                                                                      |   |   |
|          | ● 理由：今は税務上の費用が会計より多く認められているなどの理由で課税所得が小さくなっているが、その差は貸借対照表上のズレ (繰延税金負債) として認識される。一方で、将来そのズレが解消すると、税務上の費用が減る (または収益が増える) ため、将来の課税所得は増加し、結果として将来の税金が増えることが見込まれる。 |   |   |

【LEC 東京リーガルマインド コールセンター】

TEL:0570-064-464 (ナビダイヤル) 平日 9 : 30 ~ 20 : 00 土・祝 10 : 00 ~ 19 : 00 日 10 : 00 ~ 18 : 00

